

助成受給団体	河北地区防犯協会連合会
事業の名称	安全・安心まちづくり活動の推進
実施期間	平成24年8月1日～平成25年2月28日
事業内容 1 仮設住宅23箇所横のぼりを掲出。、見せる防犯活動に努めた。 2 車両用防犯マグネットを活用し、防犯パトロール活動を実施した。 3 全国地域安全運動(10/11～20)、年末年始防犯特別警戒期間(12/14～1/7)における各種広報活動として、仮設住宅の各戸訪問、大型スーパー、道の駅でのキャンペーンを実施した。 4 毎月15日、特殊詐欺被害抑止教科日となっていることから金融機関店舗前においてキャンペーン活動を実施した。 5 地域防犯サポーターが年間を通じて仮設住宅敷地内を巡回し、仮設住宅の安全・安心に努めた。 6 仮設住宅集会所で実施されているお茶飲み会等に参加し、ミニ防犯広報を実施した。	
事業の成果 当地区には23か所の仮設住宅があり、12月末現在1,492戸、3,389人が生活している。仮設住宅を巡回する警察車両のマグネットの装着や、防犯横のぼりを掲示することにより見せる防犯広報を実施できた。 更に、仮設住宅の戸別訪問の実施、大型店等におけるキャンペーン活動を展開することにより、地域住民に対する広報活動を実施できた。 その結果、仮設住宅に対する臨場件数は上半期は月平均8件であったが、下半期は月平均4.5件に減少しており、成果があったと認められる。	
今後の課題 自主防犯活動を充実させるため、パトロール隊やボランティア隊に対する支援を行うことが必要である。	

